

経営比較分析表（令和4年度決算）

岩手県西和賀町 町立西和賀さわうち病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
5,022	4,451	第1種該当	-	13:1

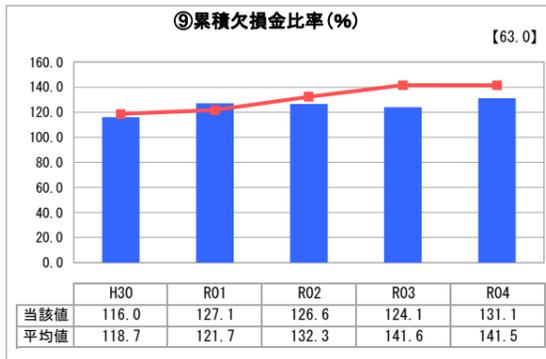
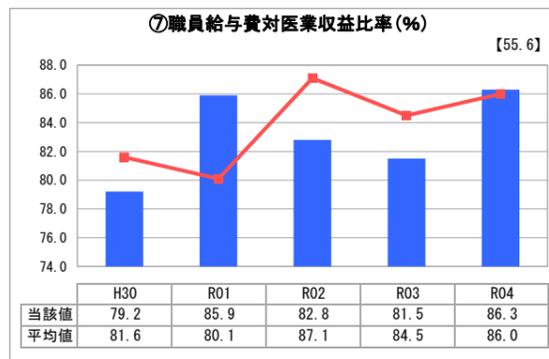
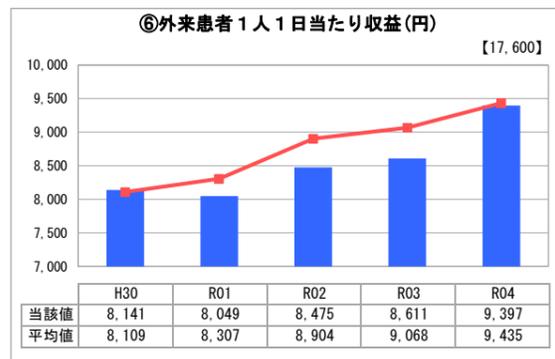
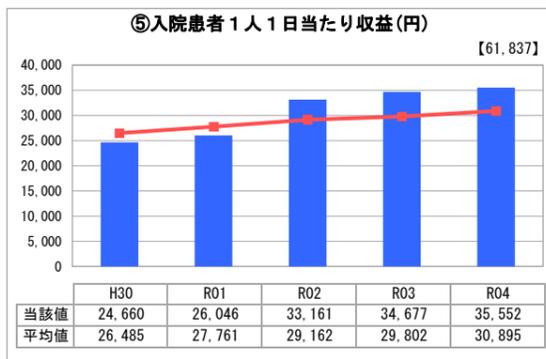
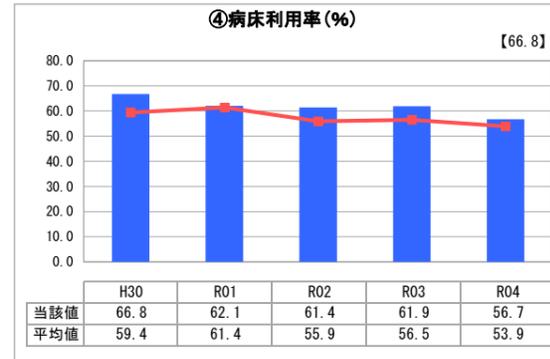
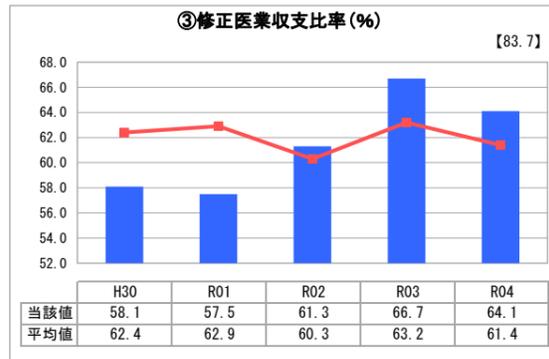
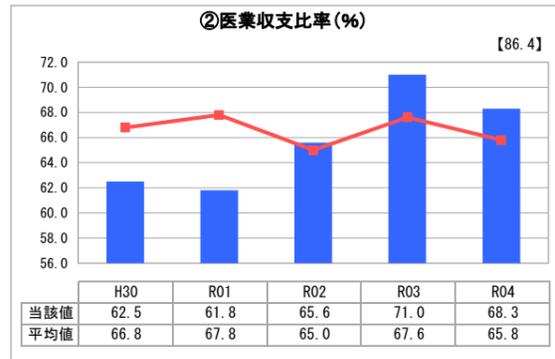
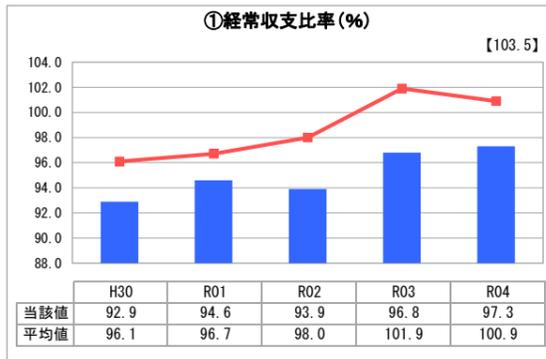
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

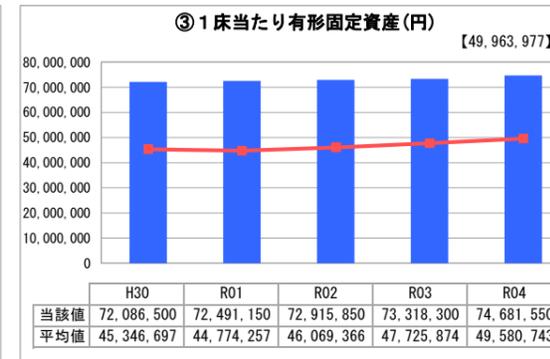
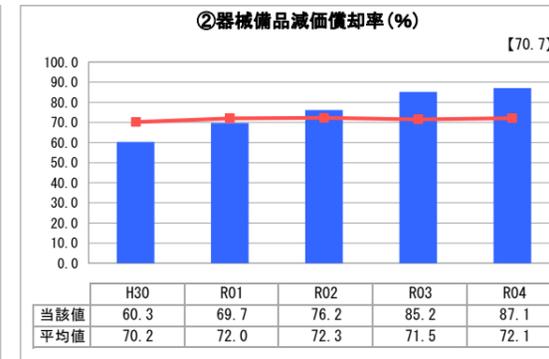
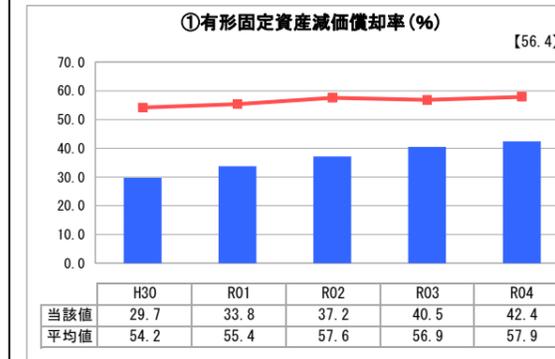
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	40
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
36	-	36

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

本町は、同じ圏域の基幹病院まで車で60～90分の遠隔地にあり、地域で唯一の病院である当院が一般診療をはじめ、救急医療や人工透析など、住民が地域で暮らしていくうえで必要不可欠な医療機能を備えている。また町立の国保病院として、人間ドックや各種健診のほか各種感染症対策など、病気予防から健康づくりの取組にも積極的に関わっている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度より地域包括ケア病床を導入したことにより入院患者1人1日あたり収益を増加させ、医業収益を増加させることに成功し、医業収支比率で3年連続で類似病院平均を上回り、健全性、効率性において改善したと捉えている。しかしながら、令和4年度はコロナ禍で入院外来患者ともに減少したことにより、医業収支比率で前年度比2.7ポイントの減となった。

人口減少等により今後も患者数の減少は避けられない問題であるが、その分、収益確保をするため診療単価を上げる取組を継続していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

当院は平成26年に新築された比較的新しい病院であることから、有形固定資産減価償却率は類似病院平均を下回っている。一方、器械備品減価償却率については、令和2年度から類似病院平均を上回っているが、これは新築時に整備し償却を終了している備品が多く存在しているためであり、今後は計画的な医療機器の更新が必要となる。

全体総括

当院は本町唯一の病院として町民の期待も大きく、地域住民の安心と健康づくりのために中心的な役割を担っていく。

また、県内一高齢化が進んでいる本町では、町内の民間医療機関はもとより、介護福祉施設とも密接に連携しながら、医療スタッフや医療機器、40床の病床など持てるすべての医療資源をフル活用して、地域住民の生活を支えていく必要がある。

そのためには、経営基盤を安定させることが大前提であり、今後も病院事業独自の収益確保に取り組んでいくことが重要である。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。